

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## <資産証券化商品> 信託受益権 202502(契約番号 240148)

### 【新規】

信託受益権予備格付	A A A
A B L 予備格付	A A A

### ■ 格付事由

本件は、リフォーム・ソーラーローン ABS に対する格付である。

#### 1. スキームの概要

- オリジネーター兼サービサー（オリジネーター）は、多数の個人または法人に対して有するリフォーム・ソーラーローン債権（対象債権）をみずほ信託銀行株式会社（受託者）に信託し、受託者はオリジネーターを当初受益者として優先受益権、劣後受益権および現金準備金受益権を交付する。優先受益権はオリジネーターからみずほ証券株式会社に譲渡され、その一部はさらに優先受益権投資家に譲渡される。残る優先受益権については ABL 投資家から ABL を受け入れることによって償還される。劣後受益権および現金準備金受益権は引き続きオリジネーターが保有する。
- 対象債権の信託設定に際し、オリジネーターは動産及び債権の譲渡の対抗要件に関する民法の特例等に関する法律（動産・債権譲渡特例法）第4条第1項に定める登記により第三者対抗要件を具備する。
- オリジネーターは信託事務委任契約に基づき、サービサーとして対象債権の回収を代行し、その回収金を毎月受託者に引き渡すほか、一定の金額を上限に貸倒債権の買戻しを行う。回収期間中、これらの回収金および買戻し代金により優先受益権および ABL の元本の償還/返済と配当/利息の支払いが行われる。
- 本件では信用補完・流動性補完措置として、優先劣後構造、現金準備金の設定が採用されているほか、バックアップサービサーが当初から設置されている。

#### 2. 仕組み上の主たるリスクの存在

##### (1) 対象債権の貸倒リスク・キャンセルリスク

オリジネーターが保有するリフォーム・ソーラーローン債権の債務者について、破産・支払遅延等が発生した場合や、リフォームローン実行後にキャンセルが発生した場合に、債権の回収が予定通り行われないリスクがある。このリスクに対して、代位弁済率等の過去実績にもとづき、優先受益権/ABL について必要とされる劣後水準を設定している。対象債権には適格要件が設定されているため、母体債権より質の劣る債権が譲渡されているリスクは限定的と判断される。

##### (2) サービサーの信用悪化に係るリスク

###### ① コミングリング・リスク

対象債権からの回収金はサービサーのもとに約 50 日間滞留した後、受託者に送金される。オリジネーターが万一破綻した場合、回収金がオリジネーターの資産と混同され、引き渡しが予定通り行われないリスク（コミングリング・リスク）が生じうるが、本件では当月の約定返済金相当額を仮払金として引き渡すことにより、コミングリング・ロスを縮減する方策がとられている。これに加え、劣後受益権の一部がコミングリング・リスク対応信用補完となっている。

## ② バックアップサービス体制

本件では、当初よりバックアップサービサーが設置されている。

## (3) 信託内のキャッシュフロー不足リスク

本件では、流動性補完措置として信託報酬、優先受益権/ABL にかかる予定配当/利息およびバックアップサービサーが発動した場合のサービシング手数料の一定期間分ならびに引継費を現金準備金として当初から準備している。

## 3. 格付評価のポイント

### (1) 損失、キャッシュフロー分析および感応度分析

本件分析は、代位弁済率（貸倒とキャンセルが含まれる）・期限前返済率等のヒストリカルデータおよび詳細な属性データを分析しキャッシュフロー上の特徴を考慮し、劣後部分の水準がキャッシュフローの予想損失・予想回収額・債務者の分散度に比して十分か否かを主要なポイントとした。

代位弁済率についてはダイナミックデータなどから算出されたベース代位弁済率に対して今後の見通しを勘案して一定のストレスをかけてキャッシュフローを分析した（ストレス考慮後の想定代位弁済率は0.122%）。本件証券化では貸倒債権の内、長期延滞債権の計上基準として2ヶ月超延滞が採用されている。また、一定期間経過後はさらに保守的な想定を行っている。

期限前返済率についてはダイナミックデータなどから算出されたベース期限前返済率を算出し、今後の見通しを勘案して一定のストレスをかけてキャッシュフローを分析した。期限前返済率がゼロとなるケースも合わせて計算し、保守的な結果を採用している。

本件で設定されている劣後金額は上述のストレスを考慮して計算された、本件で必要とされる劣後金額の水準を上回っており、優先受益権および ABL について、格付相当のリスクの範囲内で元本償還/返済および配当/利息の支払いを行うのに十分な水準であることを確認している。なお、キャッシュフロー分析に際しては、景気変動の影響が相対的に小さいアセットクラスであって、非常に分散した債権プールが裏付資産であること、これまでのパフォーマンスが良好に推移していること、時間の経過にともなって劣後比率が上昇していく仕組みであることを考慮している。

以下の前提のもとで、期中に貸倒率がベースケースを上回って変化することを仮定とした感応度分析を行った。

（前提）

- ・ 評価時点は信託開始日時点
- ・ 算定手法は上記と同じ手法

感応度分析の結果、優先受益権/ABL に対して採用するベース代位弁済率を 0.040% に移動させた場合には、設定劣後比率を前提とした格付は「AA」となった。

### (2) その他の論点

- ① オリジネーターから受託者への信託譲渡および、オリジネーターからみずほ証券ならびにみずほ証券から優先受益権投資家への優先受益権の譲渡は真正な譲渡を構成するものと考えられる。
- ② 本件の信託口座は、一定の水準以上の短期格付またはこれと同程度の長期発行体格付を JCR から付与されている金融機関に開設されている。
- ③ 関係当事者の本件運営にかかる事務遂行能力に現時点で懸念すべき点はみられない。

以上より、優先受益権および ABL について、規定の配当ならびに利息が規定どおりに全額支払われること、および最終信託計算期日までに元本が全額償還または返済されることの確実性は、優先劣後構造および法的手当てによって「AAA」と評価できる水準が維持されていると考えられ、優先受益権および ABL の予備格付を「AAA」と評価した。

【裏付資産のキャッシュフロー（仮プール）】（単位：円）

年月	元本返済	利払
202502	123,850,365	40,075,321
202503	123,948,783	39,796,903
202504	124,227,166	39,518,520
202505	124,505,622	39,240,064
202506	126,052,460	38,961,626
202507	129,552,566	38,683,622
202508	127,282,845	38,405,678
202509	124,398,661	38,128,795
202510	124,322,449	37,853,277
202511	123,844,817	37,578,409
202512	126,825,113	37,305,513
202601	128,467,092	37,033,699
202602	123,738,155	36,762,871
202603	123,745,716	36,492,210
202604	123,981,390	36,221,636
202605	124,204,755	35,951,171
202606	125,490,840	35,680,786
202607	129,135,029	35,410,662
202608	126,483,483	35,140,843
202609	123,611,029	34,872,747
202610	123,231,900	34,606,076
202611	123,005,506	34,340,565
202612	125,664,767	34,076,304
202701	127,179,233	33,813,179
202702	122,890,640	33,551,007
202703	122,753,737	33,289,210
202704	122,701,390	33,027,857
202705	122,962,113	32,767,134
202706	124,159,094	32,506,453
202707	127,287,969	32,246,043
202708	124,996,396	31,985,950
202709	121,971,146	31,727,880
202710	120,992,796	31,471,530
202711	120,377,477	31,217,653
202712	122,275,477	30,965,771
202801	123,380,019	30,715,957
202802	119,287,513	30,468,398
202803	119,345,101	30,220,810
202804	119,572,450	29,973,361
202805	119,723,035	29,725,976
202806	121,004,876	29,478,735
202807	123,709,306	29,231,470
202808	122,244,637	28,984,402
202809	119,914,200	28,738,289
202810	119,618,664	28,492,800
202811	119,298,296	28,248,455
202812	121,560,188	28,005,315
202901	123,142,130	27,762,911
202902	119,369,119	27,521,457
202903	119,430,575	27,280,001
202904	119,671,937	27,038,639
202905	119,831,679	26,797,197
202906	121,050,084	26,555,892
202907	123,704,431	26,314,910
202908	119,895,626	26,073,915
202909	115,904,005	25,838,037
202910	113,751,766	25,606,279
202911	111,204,179	25,379,099
202912	111,373,844	25,157,119
203001	109,354,629	24,939,196
203002	106,526,958	24,727,867
203003	106,658,275	24,516,550
203004	106,809,249	24,305,276
203005	107,020,426	24,094,099
203006	108,048,185	23,882,840
203007	109,597,752	23,671,673
203008	108,974,723	23,460,602

年月	元本返済	利払
203110	106,855,486	20,558,341
203111	106,697,936	20,354,013
203112	108,302,212	20,150,337
203201	109,032,325	19,947,242
203202	106,632,829	19,744,838
203203	106,722,272	19,542,595
203204	106,915,029	19,340,338
203205	107,092,729	19,138,238
203206	107,939,721	18,936,046
203207	109,305,631	18,734,136
203208	108,794,213	18,532,180
203209	106,815,967	18,331,207
203210	106,654,014	18,131,060
203211	106,540,610	17,931,478
203212	108,046,200	17,732,542
203301	108,839,048	17,534,049
203302	106,403,984	17,336,413
203303	106,493,647	17,138,950
203304	106,675,885	16,941,512
203305	106,854,567	16,744,150
203306	107,708,327	16,546,790
203307	109,048,404	16,349,513
203308	108,922,848	16,152,269
203309	107,147,929	15,955,388
203310	107,174,824	15,758,893
203311	107,147,363	15,562,754
203312	108,729,664	15,366,953
203401	109,725,062	15,171,497
203402	107,378,220	14,976,539
203403	107,478,425	14,781,634
203404	106,613,219	14,586,740
203405	107,792,759	14,391,900
203406	108,524,739	14,197,120
203407	109,933,709	14,002,450
203408	106,402,459	13,807,947
203409	102,071,240	13,619,657
203410	99,038,995	13,436,261
203411	96,294,241	13,258,452
203412	94,665,372	13,086,102
203501	92,451,565	12,919,325
203502	90,522,450	12,758,040
203503	90,592,910	12,596,780
203504	90,754,086	12,435,604
203505	90,881,642	12,274,348
203506	91,511,475	12,113,215
203507	92,688,570	11,952,120
203508	92,441,634	11,791,156
203509	91,254,487	11,630,403
203510	91,315,145	11,469,691
203511	91,306,338	11,309,098
203512	92,424,093	11,148,843
203601	93,304,750	10,988,986
203602	91,352,302	10,829,634
203603	91,431,520	10,670,416
203604	91,590,780	10,511,156
203605	91,750,002	10,351,934
203606	92,399,079	10,192,657
203607	93,555,449	10,033,487
203608	93,291,426	9,874,310
203609	91,924,275	9,715,461
203610	91,893,374	9,557,062
203611	91,829,795	9,398,876
203612	92,921,325	9,241,046
203701	93,780,077	9,083,695
203702	91,854,150	8,926,822
203703	91,911,168	8,769,904
203704	92,052,204	8,613,068

年月	元本返済	利払
203806	92,943,737	6,441,108
203807	94,094,716	6,287,329
203808	93,779,326	6,133,519
203809	92,398,022	5,980,123
203810	92,332,137	5,827,130
203811	92,302,919	5,674,409
203812	93,412,262	5,521,966
203901	94,388,187	5,369,712
203902	92,468,454	5,217,945
203903	92,468,143	5,066,156
203904	92,599,211	4,914,488
203905	92,750,833	4,762,866
203906	93,304,835	4,611,264
203907	94,168,525	4,459,707
203908	86,452,250	4,308,735
203909	77,252,013	4,170,016
203910	69,149,163	4,044,872
203911	60,793,566	3,933,130
203912	52,873,491	3,835,682
204001	44,645,078	3,752,957
204002	43,669,773	3,685,262
204003	43,737,446	3,617,589
204004	43,805,112	3,549,923
204005	43,872,809	3,482,226
204006	44,150,484	3,414,551
204007	44,836,061	3,346,874
204008	44,597,016	3,279,219
204009	44,014,032	3,211,703
204010	44,081,521	3,144,214
204011	44,131,193	3,076,742
204012	44,827,745	3,009,262
204101	45,246,149	2,941,858
204102	44,270,523	2,874,484
204103	44,337,869	2,807,138
204104	44,405,252	2,739,755
204105	44,440,891	2,672,416
204106	44,705,917	2,605,090
204107	45,392,106	2,537,801
204108	45,202,389	2,470,518
204109	44,571,496	2,403,311
204110	44,638,617	2,336,190
204111	44,630,037	2,269,070
204112	45,306,399	2,202,108
204201	45,647,894	2,135,162
204202	44,706,322	2,068,334
204203	44,773,148	2,001,508
204204	44,839,954	1,934,702
204205	44,887,349	1,867,907
204206	45,150,252	1,801,104
204207	45,650,250	1,734,364
204208	45,081,334	1,667,866
204209	44,149,511	1,601,911
204210	43,732,623	1,536,606
204211	43,386,130	1,471,920
204212	43,684,271	1,407,915
204301	43,845,694	1,344,438
204302	42,915,784	1,281,348
204303	42,978,854	1,218,278
204304	43,020,954	1,155,230
204305	43,084,028	1,092,156
204306	43,324,629	1,029,055
204307	44,003,640	966,044
204308	43,741,367	903,117
204309	43,158,576	840,208
204310	43,170,066	777,387
204311	43,214,071	714,682
204312	43,895,568	651,985

年月	元本返済	利払
203009	106,821,553	23,250,572
203010	106,724,049	23,041,376
203011	106,688,381	22,832,644
203012	108,221,171	22,624,354
203101	109,287,494	22,416,931
203102	106,668,120	22,210,105
203103	106,756,398	22,003,227
203104	106,963,133	21,796,492
203105	107,169,956	21,589,669
203106	108,113,142	21,382,883
203107	109,605,414	21,176,211
203108	109,167,590	20,969,535
203109	107,092,513	20,763,509

年月	元本返済	利払
203705	92,101,941	8,456,231
203706	92,741,287	8,299,585
203707	93,894,307	8,142,965
203708	93,584,919	7,986,453
203709	92,080,997	7,830,301
203710	91,931,877	7,674,721
203711	91,821,775	7,519,653
203712	92,993,639	7,365,106
203801	93,984,895	7,210,750
203802	91,987,105	7,056,640
203803	92,039,706	6,902,739
203804	92,155,589	6,748,756
203805	92,278,722	6,594,923

年月	元本返済	利払
204401	44,216,536	589,317
204402	43,041,996	526,757
204403	42,898,955	464,598
204404	42,779,628	402,725
204405	42,685,130	341,078
204406	42,795,911	279,697
204407	43,477,516	218,492
204408	36,903,486	157,359
204409	29,466,658	105,116
204410	21,996,364	62,743
204411	14,359,102	31,075
204412	7,312,704	10,360

## 【予定償還/返済スケジュール】

月次パススルー

(担当) 荘司 秀行・清水 達也

## ■ 格付対象

### 【新規】

対象	当初発行額/実行額*	劣後比率*	最終信託計算期日**	クーポン・タイプ	予備格付
優先受益権	債権残高×(1-14.7%*)以下の金額	14.7%*以上	2046年2月28日	固定金利	AAA
ABL			2046年2月28日	固定金利	AAA

※当初発行額/実行額については2025年2月20日までに決定予定。

### 〈発行の概要に関する情報〉

信託設定日	2025年2月20日(予定)
優先受益権譲渡日***	2025年2月28日(予定)
ABL 実行日	2025年2月28日(予定)
償還/返済方法	月次パススルー、シークエンシャルペイ ※クリーンアップ・コール条項有り
流動性・信用補完措置	優先劣後構造、現金準備金 ※劣後比率：14.7%以上 (劣後比率：1 - 優先受益権/対象債権元本)

上記格付はバーゼルⅡに関連して金融庁が発表した『証券化取引における格付の公表要件』を満たしている。

\* 劣後比率は2025年2月20日までに確定する最終プールにもとづいて確定予定。

\*\* 本件における事実上の法定最終償還期日

\*\*\* 本件における事実上の発行日

### 〈ストラクチャー、関係者に関する情報〉

オリジネーター	東京都所在の大規模その他金融業
アレンジャー	みずほ証券株式会社
受託者	みずほ信託銀行株式会社

### 〈裏付資産に関する情報〉

裏付資産の概要	オリジネーターが保有するリフォーム・ソーラーローン債権
裏付資産発生の概要	オリジネーターが自社の業務方法及び与信基準にしたがって、貸出の可否を決定したもの
裏付資産プールの属性	元本残高 21,613,793,642 円 個人・法人別では個人が約 99%、抽出時点の残回数 は 15 年以内が約 56% を占める (金額ベース)。

<p>適格要件（抜粋）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ オリジネーターによる信託対象債権に係る立替払契約及び加盟店契約の締結及び履行について、オリジネーターの社内規則上必要とされる一切の手続を履践していること。</li> <li>・ 信託対象債権が、適法で、有効かつ拘束力を有し、その条項に従い執行可能な立替払契約及び加盟店契約に基づき発生したリフォーム・ソーラーローン債権であること。</li> <li>・ 信託対象債権に係る立替払契約の無効、取消、解除（中途解約を含む。）若しくは更改、信託対象債権の弁済、相殺若しくは免除、その他信託対象債権の全部又は一部を消滅せしめ、又は約定支払日において債務者が支払を拒みうる何らの抗弁及びかかる抗弁の原因となる事由が存在せず、かつ、債務者がかかる主張をしていないこと。</li> <li>・ 信託対象債権のリフォーム・ソーラーローン債務者が割賦販売法に基づく法定の権利を行使して信託対象債権の支払を拒みうる、又は対象商品等に関する信託対象債権のリフォーム・ソーラーローン債務者と信託対象債権に係る販売加盟店との間の対象商品等に関する売買契約を解除若しくは解約しうる、何らの抗弁及びかかる抗弁の原因となる事由が存在せず、かつ、リフォーム・ソーラーローン債務者がかかる主張をしていないこと。</li> <li>・ 信託対象債権が貸倒債権又は延滞債権に該当しないこと。</li> <li>・ 締切日において、信託対象債権の1債務者あたりの元本金額が30百万円以下であること。</li> <li>・ 信託対象債権は、オリジネーターが保有するリフォーム・ソーラーローン債権のうち信託対象債権としての適格を有するものの中から、無作為に抽出されたものであること。</li> <li>・ 信託対象債権の約定支払日が毎月7日であること。</li> <li>・ 信託開始日において、信託対象債権の残存支払回数は2回以上240回以下であること。</li> </ul>
<p>加重平均金利</p>	<p>2.09%（仮プール）</p>

### 格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2025年1月28日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：湊岡 由典  
主任格付アナリスト：荘司 秀行
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準については、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法（格付方法）の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「割賦債権・カードショッピングクレジット債権」（2014年6月2日）の信用格付の方法として掲載している。回収金口座や倒産隔離など他の付随的な論点についても上記のページで格付方法を開示している。
5. 格付関係者：  
（オリジネーター等） 東京都所在の大規模その他金融業（ビジネス上の理由により非公表：オリジネーター名が公表された場合、オリジネーターのレピュテーションへの影響等の不利益が生じる可能性があるため）  
（アレンジャー） みずほ証券株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関するJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。JCRは、格付付与にあたって必要と判断する情報の提供を発行者、オリジネーターまたはアレンジャーから受けているが、その全ては開示されていない。本件信用格付は、資産証券化商品の信用リスクに関する意見であって、価格変動リスク、流動性リスクその他のリスクについて述べるものではない。また、提供を受けたデータの信頼性について、JCRが保証するものではない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
① 格付対象商品および裏付資産に関する、オリジネーターおよびアレンジャーから入手した証券化対象債権プールの明細データ、ヒストリカルデータ、パフォーマンスデータ、証券化関連契約書類  
② 裏付資産に関する、中立的な機関から公表された中立性・信頼性の認められる公開情報  
③ オリジネーターに関する、当該者が対外公表を行っている情報  
④ その他、オリジネーターに関し、当該者から書面ないし面談にて入手した情報  
なお、JCRは格付申込者等から格付のために提供を受ける情報の正確性に関する表明保証を受けている。
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、いずれかの格付関係者による表明保証もしくは対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 資産証券化商品の情報開示にかかる働きかけ：

(1) 情報項目の整理と公表

JCRは、資産証券化商品の信用格付について、第三者が独立した立場で妥当性を検証できるよう、裏付資産の種類別に、第三者が当該信用格付の妥当性を評価するために重要と認められる情報の項目をあらかじめ整理してホームページ上で公表している。

(2) 情報開示にかかる働きかけの内容及びその結果の公表

JCRは、本資産証券化商品の格付関係者に対し、当該資産証券化商品に関する情報（上記の情報項目を含む。）の開示を働きかけた。

働きかけの結果、格付関係者が公表に同意した情報の項目について、JCRは、格付関係者の委任を受け、格付関係者に代わりここで当該情報を公表する（上記格付事由及び格付対象を参照）。なお、公表に対して同意を得られていない情報の項目については、上記格付事由および格付対象の箇所未公表と表示している。

10. 資産証券化商品についての損失、キャッシュフローおよび感応度の分析：

格付事由参照。

11. 資産証券化商品の記号について：

本件信用格付の対象となる事項は資産証券化商品の信用状態に関する評価である。本件信用格付は裏付けとなる資産のキャッシュフローに着目した枠組みで付与された格付であって、資産証券化商品に関し (a) 規定の配当/利息が期日通りに支払われること、(b) 元本が最終信託計算期日までに全額償還/返済されることの確実性に対するものであり、ゴーイングコンサーンとしての債務者の信用力を示す発行体格付とは異なる観点から付与されている。

12. 格付関係者による関与：

本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。

13. JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

■ 留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

■ NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■ 本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

**株式会社 日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官（格付）第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル